

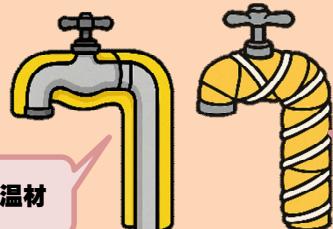
ひゅうが上下水道かわら版 冬の備えは水道管から

こんな時は凍結に注意！

水道管は気温が-4°C以下で凍結しやすく、風当たりの強い場所や屋外北側の日が当たらぬ露出した管は-1°C~-2°Cでも凍ることがあります。凍結すると水が出なくなったり、管が破損して修理が必要になることがあります。



～対策～



ビニール
毛布や
布など

じゃ口、水道メーター、給湯器などの露出した管は、発泡スチロール製などの保温材や、布類で覆って保温します。保温材は、ホームセンター等で販売されています。

長期間不在にする場合は、水道の元栓（止水栓）を閉めましょう。不在の間、水道管が凍結破損した場合に漏水を防ぐことができます。

～もし、水道管が凍結・破裂したら～

凍結したら…

●水道管や水道メーターに直接熱湯をかけると破損する場合があります。水道管を覆っている保温材を外して、タオルなどをあててぬるま湯をかけます。

凍ったじゃ口にも、タオルなどをあててぬるま湯をかけます。



破裂したら…

●あわてずに元栓（止水栓）を閉めます。
●日向市水道事業指定給水装置工事事業者（市ホームページ参照）
または日向管工事協同組合（0982-52-2556）に修理を依頼しましょう。

凍結の恐れがないときは、保温材を外して
スムーズな検針が出来るようご協力ください



↑メーターBOX